

阿倍野区理学療法士会主催 web 研修会【生涯学習研修会】

テーマ：脳卒中患者の問題の見極め方

講師： 山上拓（阿倍野区理学療法士会 会長、大阪鉄道病院）

内容：トピックス①脳の機能構造を知る、②評価から多角的に考える、③positive 因子
と negative 因子、④見極めていくためにフローチャートで考える

※内容の詳細につきましては、2 ページ目をご参照下さい。

日時：2020 年 12 月 12 日（土）9:30～12:40（入室 9:00～）

場所：ZOOM を用いたオンライン開催

定員：40 名程度

参加資格：日本理学療法士協会所属者かつ新プロ修了者

参加費：3,000 円

応募受付期間：2020 年 12 月 5 日（土）まで

認定ポイント：10 ポイント 専門理学療法士（神経）、認定理学療法士（脳卒中）

申込方法：事前申込制（お申し込みは、下記 URL よりお願い致します）

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/7ce454c5655265>

お問い合わせ先：阿倍野区理学療法士会 学術局担当者

メールアドレス：abenokupt.gakujuutsu@gmail.com

脳卒中患者の問題点を見極める

～運動・動作の問題点をいかに見極めていくか！？～

本研修会の目的は、脳卒中患者の運動・動作に散在した問題点に対し、焦点化することです。

正解をお伝えする研修会ではなく、問題点が多様化する脳卒中患者に対し、どのように考えていけば問題点を見極めることに近づくか。という考え方をお伝え致します。

昨今、エビデンスレベルの変化があり、多くの評価から様々な視点でリハ診療が実施されています。SIAS、麻痺、筋緊張、感覚、高次脳機能、ROM、筋力、バランス、体幹機能、FIM、動作観察、動作分析等々の評価から結果が出たときに多角的に考えることが必要とされています。その多角的な思考は、まず脳の機能構造を理解することから始まります。そのため、本研修会はまず①脳の機能構造の整理から行います。特に運動が出現するまでの流れと、動作へ移行する際の脳の関連性をお伝え致します。次に、②評価から多角的に考えることをお伝え致します。そして、問題点を見極めていくために外すことが出来ない positive 因子と negative 因子のお話を致します。全てが negative ではなく、評価から positive 因子を考えていくことで問題点への捉え方を再考していきます。最後に、運動・動作の問題点をいかに見極めていくための考え方をフローチャート化し、脳卒中患者の運動・動作に散在した問題点に対を焦点化していきます。

➤ 今回の研修会の対象としましては、

脳卒中患者の問題点を絞っていくことに難渋されている先生や、脳卒中患者の運動・動作に散在した問題点に困っている先生は是非ご参加頂けましたら幸いです。